

道の駅会社への出資金を決定

12月までに管理運営会社を設立

平成26年度補正予算のうち、一般会計(第2号)は7億6180万円を増額し、予算総額139億3312万円とすることを全賛成で可決しました。

おもな内容は、仮置き場整備4億6580万円やまちづくり会社(道の駅)への出資金5000万円などで、その財源は国・県からの補助金などでまかさないです。

平成26年度一般会計補正予算(第2号)のおもな内容

【おもな事業】

仮置き場整備工事	4億6580万円
県北浄化センター賠償金の基金(貯金)積立	1億5000万円
まちづくり会社(道の駅)への出資金	5000万円
人事異動などによる人件費の不足分	3532万円
町営住宅修繕工事	1440万円
桃せん孔細菌病の防除費用の追加補助	200万円
災害用機材(テント、リヤカー)の購入	119万円
子どもの木育イベント開催費用	102万円
その他(町道、林道、水路の修繕など)	4207万円
計	7億6180万円

【おもな財源】

地方交付税	3265万円
国・県からの補助金	4億7577万円
東京電力からの賠償金	1億5000万円
前年度からの繰越金	7373万円
町債(林道災害復旧工事のための借金)	360万円
その他(特別会計繰入金、前年度事業の収入など)	2605万円
計	7億6180万円

質疑

まちづくり会社 支援費とは

問

(松浦常雄議員)

まちづくり会社支援費5000万円の内容と積算の根拠は。

産業振興課長

道の駅の管理運営会社を12月

までに設立するための出資金。道の駅は平成28年度開業予定で、開業後5年間の赤字分を積算したものだ。

町長

道の駅と交流の場の目的に合った運営会社を立ち上げたい。できるだけ赤字を出さないことが最重要課題になる。

道の駅支配人の 選任は

問

(村上晴夫議員)

道の駅の成功には運営会社の支配人が重要になる。人選はどうするのか。

産業振興課長

支配人は公募し、経験がある

人を採用したい。また中心となる従業員は事前に町の任期付き職員として採用して準備を進める。

町長

人が大事なのでしっかりと選びたい。

道の駅の 収入計画は

問

(東海林一樹議員)

まちづくり会社の収入計画の内容は。

産業振興課長

果物を活用したジュース、

カットフルーツなどの販売、農産物の注文販売、大型遊具を備えた子どもの一時的預かり所、お母さん同士の情報交換の場となる喫茶スペース、宿泊できる研修

室などを見込んでいます。

道の駅出荷組合 の設立は

問

(村上晴夫議員)

道の駅に農産物を出荷する組合はどうするのか。

産業振興課長

出荷希望のある農家を中心に

出荷組合の設立や農産物の種類を検討している。

また商工会を中心に出荷や商品販売などを協議している。

人件費増の理由と 職員の健康管理は

問

(村上晴夫議員)

人件費の増額理由は。また、震災対応などでは業務量が増えているが職員の健康管理は大丈夫なのか。

町長

元気活力事業など業務が多く、職員を増やして対応しているため。健康管理は業務の大変さを共有して乗り切りたい。



子育て世代の情報交換(森江野町民センターでのママカフェ)

除染の進み具合は

問

(渡辺勝弘議員)

3年間で全戸を除染する計画だが、その期間の半分を過ぎた。除染は予定どおり進んでいるのか。

原発災害対策課長 住宅・宅地の除染は、これまでの2か年の合計目標数2500戸のうち、8月末で1378戸が終了。今年度は月平均165戸の割合で進んでいる。

子どもの木育イベントを開催

問

(松浦常雄議員)

観光力づくり事業102万円の内容は。

産業振興課長 東京おもちゃ美術館に依頼し、子どもたちに木を題材にした木育イベントを11月に開催するもの。

リヤカー購入の理由は

問

(渡辺勝弘議員)

災害対策費の備品購入費119万円の中で、今の時代にリヤカーを購入する理由は。

住民生活課長 災害時には車イス、簡易タンカ、リヤカーが有効だったとい

う意見があり、各地区から要望が出されたため。

町営住宅の訴訟は何件か

問

(阿部泰藏議員)

住宅管理費の調停業務委託料50万円は、何件の調停や訴訟を想定しているのか。

建設課長 検討中のものを含め5件程度。家賃の回収は民法の適用となる。弁護士との協力によりできるだけ回収したい。

人

事

教育委員に

志村裕美氏を再任

教育委員の任期満了により、委員に志村裕美氏(高城)の再任に同意しました。任期は平成30年9月30日までの4年。

条例その他

賠償金を復興基金(貯金)に積み立て

復興基金の設置、管理及び処分に関する条例制定

(要旨) 東京電力からの賠償金1億5000万円を町の復興や県北浄化センターの周辺対策に使うため基金(貯金)に積み立てるもの。(全員賛成で可決)

新議場の備品購入を決定

動産の取得

(要旨) 新庁舎議場の机やイスなど備品一式を1296万円で「株式会社天童木工(山形県天童市)」から購入するもの。(全員賛成で可決)

小坂と大木戸の仮置き場整備を決定

工事請負契約

(要旨) 新内谷地内の小坂方部2号仮置き場は、9828万円、「有会社」近久工業(石母田)と、大木戸字大久保地内の大木戸方部3号仮置き場は、1億368万円、「有会社」佐久間工業(森山)と契約するもの。(全員賛成で可決)

新たな固定資産評価審査委員に
渋谷和洋氏を選任

固定資産評価審査委員の任期満了により、渋谷和洋氏(高城)の選任と菅野俊光氏(内谷)の再任に同意しました。任期は平成28年9月30日までの2年。